

令和3年9月24日

各支部代表 殿

鳥取県弓道連盟
会長 加藤速美
[公印省略]

第43回全日本弓道連盟会長楯争奪射会の開催について（案内）

仲秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素から連盟の活動につきまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記大会を11月7日（日）に鳥取県立武道館で開催します。

つきましては、貴下会員に広くご周知いただき、多くの会員の皆様に参加いただきますようご案内します。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、大会を中止する場合には、申込責任者に直接連絡（別紙申込書に連絡先を記載のこと）および県弓連の「鳥すぽ.net」、「公式 Facebook」、「公式 Twitter」で周知します。



県弓連鳥スポ net



県弓連公式 Facebook



県弓連公式 Twitter

〒683-0003

鳥取県米子市皆生5丁目17-31

ル・ポルトボヌール101 本田 洋平方

鳥取県弓道連盟事務局

電話：090-4575-4295

FAX：0859-37-5361

E-mail：tottoriken@kyudo.jp

第 43 回全日本弓道連盟会長楯争奪射会 実施要項

- 1 期 日 令和 3 年 11 月 7 日（日）10 時開会 受付 9 時 30 分～45 分
- 2 会 場 鳥取県立武道館 米子市両三柳 3192-14
- 3 競技種目 近的競技（坐射） ※（公財）全日本弓道連盟『弓道競技規則』による。
※立射申請をするものは当日受付に申し出ること。
- 4 競技種類 個人競技・団体競技（3 人 1 チーム、男女混成可、支部外チーム編成可）。
- 5 競技方法 (1) 個人競技 各自 8 射（的中制）男女別
(2) 団体競技 1 チーム 24 射（各自 8 射的中制、四つ矢 2 立）
(3) 団体競技参加者は団体競技記録をもって個人競技記録とする。
(4) 団体上位 3 チーム、男女個人上位 3 名に賞状、個人 1 位には優勝楯を授与する。
(5) 当日の参加人数によって射数を変更する場合がある。
- 6 参加資格 令和 3 年度鳥取県弓道連盟登録会員
- 7 参加料金 一般 500 円、大学生 300 円 当日徴収
- 8 申込締切 **令和 3 年 10 月 29 日（金） 必着**
- 9 申込方法 所定の申込用紙に必要事項を記入し、下記に E-mail または FAX にて申し込むこと。
申込先 鳥取県弓道連盟事務局
〒683-0003 鳥取県米子市皆生 5 丁目 17-31-101 本田洋平方
TEL：090-4575-4295 FAX：0859-37-5361 E-mail：tottoriken@kyudo.jp
- 10 競技の運行について 競技参加者全員が、競技の運営にあたること。
- 11 新型コロナウイルス感染対策
全弓連『新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン』および『令和 3 年度鳥取県弓道連盟主催・関係事業新型コロナウイルス感染症の感染防止対策と事業開催判断基準』によって対策を実施する。
- 12 その他
 - (1) 試合の遅刻について（競技委員長の了承が必要）
 - ①止む得ない事由により遅れる場合は、受付終了までに遅れる旨を連絡すること。
 - ②当該者の立順に間に合えば、試合の参加を認めるものとする。
 - (2) 弓道衣下の下着について
 - (3) 弓道衣の下に、シャツを付けることとするが、シャツは、白色の半袖または長袖（高校生は紺、黒も可）、できるだけ襟元から見えないものとする（ハイネック等は禁止）。
 - (4) 競技中、競技往復時の事故については、参加者全員とも自己責任であり弓道連盟は責任を負わない。
（スポーツ安全保険等への加入を推奨）
 - (5) 「令和 3 年度版鳥取県弓道連盟新型コロナウイルス感染症対策健康チェック表」を当日受付で提出すること。
 - (6) 個人情報の取り扱い（申込書の提出により、次の関係資料の取り扱いの旨、承諾を得たものとする）
 - ①大会プログラムならびに関係書類、県弓連 SNS 等への記載（名前、称号・段位・結果等）
 - ②報道機関、写真業者等の写真撮影とその掲載等については、主催者は関知しない。関係各法例を遵守する義務は、写真撮影者にあることを主張する。
 - (7) 新型コロナウイルス感染症の影響により、会場を変更、大会を延期または中止する場合がある。
 - (8) 申込時点で 2 名の場合は団体として認めず、個人競技でのエントリーとする。ただし、当日の欠席により、3 人が 2 人になった場合は団体として認める。また、欠席した者の代わりに個人戦のみの参加者がいた場合は、団体チームの補充要員とすることができる。
 - (9) 個人戦のみのエントリーは、事務局の判断で個人戦参加者同士で団体チームを編成する場合がある。
 - (10) チーム名は大会にそぐわない、不相応なものは避けること。